

早稲田大学 スポーツ科学部 国語(現代文) 講評

(総合分析)

出題形式	全問マーク式
試験時間	90分(現代文2問、古漢1問)

(大問別講評)

(一) 評論文。時間論。出典：計見一雄『脳と人間』。

(本文字数：約 1800 字 = 昨年より約 300 字減少。設問数：7 = 昨年と同じ)

小問	難易度	コメント
問一	標準	【脱落文挿入】脱落文中の「も同類」に着目。直前に同じ種類の例がある。
問二	易	【空欄補充】各空欄の前後の文脈から判断する。
問三	やや易	【空欄補充】空欄直前の「言い換えると」に着目。その直前と同義表現。
問四	やや易	【傍線部説明】傍線部1を含む段落の中に同義表現が繰り返されている。
問五	標準	【空欄補充】3に入るべき「投射」は、空欄Xの2行前にある。
問六	やや難	【空欄補充】各空欄の直前の表現に着目し、その適切な具体例を選ぶ。
問七	やや易	【趣旨判別】八の「客観的なものとは言えない」は空欄Xの上の「主観的判断」と同義。

(二) 評論文。身体論。出典：有山輝雄『健康優良児』。

(本文字数：約 2100 字 = 昨年より約 100 字減少。設問数：7 = 昨年より1問増加)

小問	難易度	コメント
問八	易	【漢字】2題。同音異字には普段から注意する。
問九	標準	【傍線部説明】「暗黙のうちに」「範型」という傍線部中の語句に注意する。
問十	やや難	【空欄補充】空欄部分の話題は「身体」。八では広すぎる。
問十一	やや易	【空欄補充】空欄Cは直前の内容の言い換え。「アンビバレント」は重要語句。
問十二	標準	【傍線部説明】直前の2行にヒントがある。
問十三	やや易	【空欄補充】前後の文脈から容易に判断できる。
問十四	標準	【趣旨判別】消去法でも容易に判断できる。

(総合コメント・今後の指針)

<p>大問一は、「時間」をテーマにした評論文。受験生にはあまりなじみのない内容なので、読みづらかった人も多いのではないだろうか。ただ、設問はそれほど難しくなく、傍線部や空欄の前後の文脈だけで解ける問題がほとんどだったので、焦らずにじっくり取り組めば高得点が取れたであろう。ふだんから傍線部や空欄の前後をしっかりと分析するという姿勢を身につけよう。</p> <p>大問二は、「身体」をテーマにした評論文。多くの高校の教科書や予備校のテキストで取り上げられている頻出テーマなので、抵抗なく読めた受験生が多かったのではないだろうか。ふだんから高校や予備校の授業で扱われる評論文をテーマという観点でもとらえておくとよい。</p>
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

## 〔総合分析〕

出題形式	全問マーク式
試験時間	90分(現代文2問、古漢1問)

## 〔大問別講評〕

(三) 古文。出典：浅井了意『伽婢子』巻之八、段成式『西陽雜俎』巻十四。

(古文字数：約700字＝昨年より約250字増加。漢文字数約110字＝昨年より約70字増加。

設問数：6＝昨年より1問増加)

小問	難易度	コメント
問十五・1	易	〔文脈把握〕直前の文脈から考えれば容易。
問十五・2	やや易	〔文脈把握〕傍線部の「をかしげなり」の意味と文脈から考える。
問十五・3	やや難	〔文脈把握〕イが紛らわしいが、傍線部の「かたがた」が「女の踊り」を指していると考え ると、「面白くをどり」「風流のをどり」という描写に反する。
問十六	やや易	〔文脈把握〕女と少年の歌と照らし合わせれば容易。
問十七	やや難	〔主語判定〕傍線部の「れ」を受身でとったほうが自然な訳となる。
問十八	易	〔文法問題〕格助詞「の」の主格の用法が問われている。
問十九	易	〔文学史〕上田秋成の『雨月物語』は頻出。
問二十・1	やや易	〔古文との対応をおさえる問題〕紛らわしい選択肢もなく容易。
問二十・2	易	〔助字〕疑問の助字「乎」を知っているかどうか。
問二十・3	易	〔返り点〕書き下し文が示されているので容易。

## 〔総合コメント・今後の指針〕

大問三の古文は、全体的には容易であった。本学部の古文は、基本をきちんと身につけていれば確実に高得点が狙える。単語と文法を地道に覚えつつ、省略されている語句を補いながらじっくり読む、という練習を続ければよい。

漢文はかなり容易であった。現役生のなかには受験勉強で漢文まで手が回らないという人がいるだろうが、句形などの基本事項だけでもマスターしておけば確実に得点できるレベルの設問である。センター試験レベルの漢文はできるようにしておきたい。